

令和8年度

学 校 要 覧

拓南

校 訓：自 主・協 力・勤 労

教育目標：愛顔が輝き 強みを活かす 生徒の育成

生徒会目標：やればできる 誇れる拓南

校 歌

詞 荻山安隆
曲 篠原彰宏

- 1 拓南の空 光にあふれ
石手の森に 緑ぞもゆる
流れにおどる 若鮎われら
ここに集い ここに学ぶ
- 2 学舎の鐘 高くひびきて
はばたく鳥の 瞳かがやく
一筋の道 日々に新たに
はつらつとして われらは育つ
- 3 石鎚の峰 はるかに望み
真昼の園に 歌声流る
大いなる夢 未来に生きる
讃えよ母校 拓南中学校



松 山 市 立 拓 南 中 学 校

〒790-0962 愛媛県松山市枝松五丁目4番39号

TEL (089) 931-8518

FAX (089) 933-9949



拓南中学校では 子どもと向き合う時間を確保し
「愛顔が輝き 強みを活かす 生徒の育成」
に努めます

目指す学校像

一人ひとりの 愛顔が輝く 活力ある学校

目指す生徒像

・挑戦する生徒 ・思いやり、認め合える生徒 ・労を惜しまない生徒

目指す教師像

学び続ける教師(人間力・実践的指導力・組織力・信頼構築力)

確かな学力の定着と向上

主体的・対話的で深い学びの実現
ICT を効果的に活用した学習活動の充実

自己効力感

校 訓

豊かな人間性の育成

特別活動と特別支援教育の充実
一人ひとりの興味・関心に基づく
主体性を育むアプローチ

勤 協 自
労 力 主

いじめや差別のない
安全・安心な学校づくり

命を大切にする教育の推進
カウンセリングマインドに基づく教育相談の充実

家庭・地域との連携・協力

地域人材による学校支援体制の確立
公民館・まちづくり協議会との連携推進による防災教育

生徒会目標

やればできる 誇れる拓南

◆ 年間指導時間数 (35週×29時間＝1015時間)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	特活	総合	合計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

◆ 日課表

日課	時 間
登校	8:05～8:15
拓の時間	8:15～8:25
朝の会	8:25～8:35
1校時	8:50～9:40
2校時	9:50～10:40
3校時	10:50～11:40
4校時	11:50～12:40
給食	12:40～13:15
予鈴	13:25
5校時	13:30～14:20
6校時	14:30～15:20
清掃	15:30～15:40
終会	15:50～16:00

◆ 職員数

	男	女	合計
校長	1	—	1
教頭	1	—	1
教諭	10	13	23
講師	—	1	1
養護教諭	—	1	1
主任	—	1	1
非常勤講師	—	2	2
小計	12	18	30
A L T	1	—	1
支援員	1	4	5
校務員	2	—	2
PTA事務	—	1	1
スクールカウンセラー	—	1	1
小計	4	6	10
合計	16	24	40

◆ 生徒数及び学級数

() 内は特別支援学級で内数

学年	男 子	女 子	合 計	学 級 数	
1 年 生	7 2 (2)	6 0 (1)	1 3 2 (3)	4	知的 1 情緒 1
2 年 生	5 9 (2)	7 2 (2)	1 3 1 (4)	4	
3 年 生	5 1 (2)	7 9 (3)	1 3 0 (5)	4	
合 計	1 8 2 (6)	2 1 1 (6)	3 9 3 (12)	1 4 (2)	

◆ 部活動

部活動	軟式野球	サッカー	バスケットボール男	バスケットボール女	バレーボール女
	ソフトテニス男	ソフトテニス女	卓球男	卓球女	剣道
					吹奏楽
					美術

◆ 主な行事予定

1学期 (夏季休業日含む) 入学式 修学旅行 大洲宿泊研修 市総合体育大会 きらめき水泳大会 県総合体育大会 吹奏楽コンクール PTA奉仕活動	2学期 素鷲地区自主防災訓練 職場体験学習 市新人体育大会 さわやか体育大会 文化祭 オーロラ遊歩道清掃活動 県新人体育大会 市連合音楽会	3学期 少年の日記念集会 少年の日記念歩行 新入生説明会 ときめき学習発表会 同窓会入会式 卒業式
--	--	--



素鷲地区防災訓練



文化祭



体育大会



修学旅行



少年の日記念歩行

◆ 本校の特色ある取組

創立80周年を迎え、その歴史と伝統の重さを認識するとともに、校訓「自主・協力・勤労」を継承し、更なる伝統と校風の構築・発展に努めます。また、助け合い、支えあいの根底にある「愛」と、困難にくじけることなく挑戦し、道が開けた際にこぼれる「笑顔」が結ばれた「愛顔（えがお）」があふれる学校を創造します。

◆ 校区について

天 山	「もともと天にあった山が二つに分かれて天下り、一つは大和（奈良県）の天香具山になり、もう一つがこの天山になった」と伊予国風土記に伝えられる。
星 岡 古 戦 場	1333 年、後醍醐天皇の倒幕のお触れに応じて土居通増と得能通綱が兵を挙げ、地の利を生かして北条時直率いる幕府軍を退けた。星岡山の頂上には両氏の功績が刻まれた「星岡表忠之碑」が建っている。
素 鷲 神 社	拓南一帯の産土神（うぶすながみ）〔生まれた土地の守り神〕として多くの人の信仰を集める。八岐大蛇（やまたのおろち）を退治したことで知られる建速須佐之男命（タケハヤスサノオノミコト）を祀っている。
石 手 川	1597 年頃、加藤嘉明の命を受けた足立重信が、湯山川を付け替えた人工的な川。付替工事後、拓南地域は水との厳しい戦いを強いられた。現在では堤防が緑豊かな公園となり、その一角には冒険家和田重次郎の銅像が建立されている。
立 花 橋	石手川の洪水解消のため多くの人が努力したが、立花橋もその一つである。1819 年、老齢の僧堯音（ぎょうおん）が托鉢によって浄財を集め、架橋に力を尽くした。
相 向 寺	石手川をこよなく愛した松山市第 5 代市長加藤拓川（正岡子規の叔父）の墓が、境内の大銀杏の下、松山城を見守るように建てられている。
橋 若 宮 神 社	石手川付け替え工事後、本殿は川向こうに移転し、小さな祠だけが残されていたが、地域の人の寄付により立派な神社となった。旧暦 9 月 24 日には御神楽が演じられる。

◆ 校舎配置図

